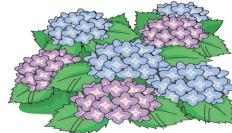


令和2年度 学校通信  
6月号  
6月1日発行

# 成文

尼崎市立成文小学校  
校長 木戸 恒徳  
TEL 06-6418-2361

ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E17/index.html>



## 『ウイルスに負けるな！』

校長 木戸 恒徳

『ハガキ』の返信、ありがとうございます。5月7日（木）から郵送させていただいた封筒に同封いたしました『ハガキ』が、学校（担任）と家庭（“成文っ子”たち）との結びつきをなお一層に豊かにするために活用できましたことを嬉しく思います。

タテ14.8cm・ヨコ10cmの小さな『ハガキ』ですが、『小さくはない』内容がぎゅっと詰まった素敵な『ハガキ』となって学校にいっぱい届きました。同封の『お知らせ』で予告していましたように、“成文っ子”たちの『ハガキ』を受けとった担任から『ハガキ』を頂戴したご家庭に電話を入れさせていただきました。突然の電話でありながら、ご対応いただきました保護者の皆様、“成文っ子”たちに感謝いたします。

職員室と扉一つで隔てられている校長室に漏れ聞こえてくる担任それぞれの電話する『声』は、教員としての『声』であったように思います。保護者の皆様のお子様への想いや愛情に届かないまでも、私たち教職員は、教職員としての“サガ〔性〕”もあって、子どもたちが“頑張っている”姿や態度に接すると、“喜び”がこみ上げ、“嬉しさ”に満ちあふれ、“応援したい想い”に駆られてしまいます。返信された『ハガキ』を手にし、しっかりととした文字・文章・絵にあふれた『内容』を見て、読んで電話を入れていた担任それは、「ありがとう」「すごいね」「頑張ってるね」と、教員として言葉を選び、気持ちを交わしていたように思います。法政大学に所属する者として『通信の秘密』は厳守しなければ…と思い、『ハガキ』の内容すべてを知っている訳ではありませんが、保護者の皆様も筆を入れてくださった『ハガキ』も多かったと聞いております。成文小学校の保護者の皆様の“優しさ”“思いやり”に感動するばかりです。重ねて申し上げます。『ハガキ』の返信、ありがとうございました。

6月1日（月）から『学校の再開』に取り組みます。この学校通信の裏面に《学校の再開において…『ご理解』と『ご協力』を要請》をまとめています。ご一読ください。学校が再開されるものの、『心臓検診』を含め、必要な『検診』が行えていないことも踏まえ、本年度は、【体育】において『水泳指導』を実施しません。学校での『水泳指導』のみならず、“水泳技能”を發揮し合って競い合う『水泳記録会』も、本年度、実施しません。【体育】関係では、全小学校が集う『連合体育大会』も、本年度、実施しません。過ぎ去った時間の中での『影響』だけではなく、『これからの中の本年度の取組』に大きく『影響』しつづける『新型コロナウイルス』です。『ウイルスに負けるな！』…『ウイルス』に感染してしまう、“生命”を手放さなければならないような症状になってしまう、それだけが『負ける』じゃない、“こころ”ない言動を遣い誤り、大切だとわかっているはずの“こころ”を傷つけてしまう、それも『負ける』こと…。『負けるな！』の想いで、“結びつき”をさらに強めたいと思うばかりです。



## 6月の予定



日	曜日	主な行事
1	月	分散登校 午前 Aグループ、午後 Bグループ
2	火	分散登校 午前 Aグループ、午後 Bグループ 身体測定5・6年A
3	水	分散登校 午前 Aグループ、午後 Bグループ 身体測定3・4年A
4	木	分散登校 午前 Aグループ、午後 Bグループ 尿検査 身体測定2年A、さくら
5	金	分散登校 午前 Aグループ、午後 Bグループ 尿検査 身体測定1年A 諸費引落
6	土	
7	日	
8	月	分散登校 午前 Bグループ、午後 Aグループ 身体測定5・6年B
9	火	分散登校 午前 Bグループ、午後 Aグループ 身体測定3・4年B
10	水	分散登校 午前 Bグループ、午後 Aグループ 身体測定2年B、さくら
11	木	分散登校 午前 Bグループ、午後 Aグループ 身体測定1年B
12	金	分散登校 午前 Bグループ、午後 Aグループ
13	土	
14	日	
15	月	通常登校開始 朝会 給食開始(2~6年) 諸費引落

※ 1・2年生は、Aグループを『あさがお』、Bグループを『たんぽぽ』と呼称しています。



### 【7月以降の予定】

7月31日（金） 1学期の終業式

8月1日（土）～17日（日） 夏季休業日

8月18日（火） 2学期の始業式



### 【熱中症対策】

暑さを感じる季節になってきました。久しぶりの登校です。暑さに身体が慣れていない状態に加え、『マスク』を着用しています。水分補給に気をくばり、熱中症対策に万全の配慮を払いながら進めてまいります。毎日、『お茶（水筒で、多めに）』、『汗ふきタオル』を必ず持たせてください。『お茶』は凍らせる必要がある時に必要な量を飲めなくなることがあるので、凍らせずに持たせてください。